

Q. 懸架ばねの回復が遅れているように見えます。下期と来期にかけての動向をもう少し詳細に教えてほしい。

A. 現状では補材経費、材料関係の値上げを交渉している最中ではありますが、それらを回収前提で今下期に入れている。

Q. 下期に固定費が増えてきており、従来と比較しても膨らんでいるのは、北米が上手く行っていないことを反映しているのか教えてほしい。

A. 人件費、雇用の確保を考慮した数字となっている。

Q. 下期黒字化の計画のようにみえるが、足元で実際に黒字化したわけではなく、期末に回収前提で入っているというイメージでよろしいか。その場合、来期はどのように考えておけば良いか教えてほしい。

A. 仰る通りである。来期は単価反映される形で利益が増えていく形である。

Q. 今下期計画はバッファーを見込んでいるのか、計画の考え方について教えてほしい。

A. バッファーは見込んでいない。HDD、半導体の回復を今下期から見込んでおりましたが、直近では緩やかに回復している状況であるものの、今下期から大きく上振れするとは見込んでいない。懸架ばね事業においても北米の固定費が前下期対比で悪化していますが、上期対比では良くなると見込んでおります。そして、売価等の回収を下期に織込んでおりますが、余裕があるとは考えていない。

Q. モーターコアの受注状況、準備状況を教えてほしい。

A. 25年、26年立上げの車種を受注し始めています。建屋やプレス設備の納期が長くなっていますが、建屋は短納期化、プレス設備に関しては、先行発注を行っている。お客様の要求納期に関しては、そのような活動を行っているため間に合っているという状況である。

以上